放射線業務従事者登録依頼書

下記の項目を記入致しましたので、日本原子力研究開発機構原子力科学研究所の放射線業務従事者としての指定の手続きをお願い致します。

研究代表者	所属	1			E	氏名				
依頼元責任者	*1 所属	2			E	氏名				
1.放射線業務	送事者伊	青報)					
放管手帳		無	中央登録	录番号 ^{※2}		-				
氏名	フリガナ	姓 5				名				
八石	漢字 ^{※3}	姓 6				名				
生年月日	9 西暦	年	J	月	日					
性別	7		国籍 8							
身分	10									
所属 ^{※4}	11									
	2 =	_								
個人線量通知	票									
送付先 ^{※5}										
	13) TEL		()					
2.被ばく前歴(堂白)								
昭和63 14 まで	1 15	を以降の	前年月16	の過去	17	7 今年度	の集計	1	今四半期	
の集積縁量	美 郊 ~	の合計		の過去効線量	17	今年度	の集計		今四半期 8 女子(
の 集候 縁量 昭和 年度	美知。 ~ 平成	の合計 年度~	平成	の過去 効線量 mSv		7 今年度 受効線量	の集計	mSv		
の集積縁量	美 郊 ~	の合計 年度~	4十月	mSv		型 対線量 	の集計 (mSv X	8 女子(妊娠中の	のみ mSv 女子
の 集候 縁量 昭和 年度	美勿∞ → 平成 前年	の合計 年度~	平成 年度 平成 平成 年度	人以称里			の集計	mSv X	8 女子(妊娠中の は妊娠か	かみ mSv 女子 らの被
の集長縁量 昭和 年度・ 昭和63年度	美勿∞ → 平成 前年	の合計 年度~ 度	平成 年度 平成 年度 平成	mSv	等個個	型 対線量 	(mSv X) 19 mov	8 女子(妊娠中の	かみ mSv 女子 らの被
の集長縁量 昭和 年度・ 昭和63年度	美知 。	の合計 年度~ 度	平成 年度 平成 平成 年度	mSv mSv mSv	等	受力線量 皮膚	(mSv X 19 mSv	8 女子の 妊娠中の は妊娠か ばく歴を短	mSv 女子 らの被 訓添で
の集(縁量 昭和 年度・ 昭和63年度 mre	美知。 ~ 平成 前年 em) (の合計 年度~ 度 mSv	平 中 成 度 平 年 成 度 平 年 成 度 平 年 成 度 平 成 度 年 成 度 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	mSv mSv	等価線	受効線量 皮膚 マの水晶体	(mSv X 19 msv	経験中のは妊娠かばく歴をを提出する	mSv 女子 らの被 訓添で
の集(縁量 昭和 年度・ 昭和63年度 (X	実効に全 平成 前年 前年	の合計 年度~ 度 mSv X)	平 中 成 度 平 年 成 度 平 年 成 度 平 成 度 平 成 度 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	mSv mSv mSv	等価線	受効線量 皮膚 マの水晶体	(mSv X 19 mSv	経験中のは妊娠かばく歴をを提出する。別	mSv 女子 らので 訓添で
の集伝縁量 昭和 年度・ 昭和63年度 (X Z これまでのこれまでの	実効に マ成 前年 市年 	の合計 年度 mSv X) 業所 2 内容 2	平成 度 平 年成 度 平 年成 度 20	mSv mSv mSv	等価線	受効線量 皮膚 マの水晶体	(mSv X 19 mSv	経験中のは妊娠かばく歴をを提出する。別	mSv 女子 らので 訓添で
の集像量 昭和 年度 昭和63年度 「日本までの」 これまでの これまでの 3.教育訓練歴	実効に 平成 前年 前年 主な作業事 主な作業 (未受講は原	の合計 年度~ 度 mSv X) 業所 2 内容(2	平成 度 平 年成 度 平 年成 度 平 年 成 度	mSv mSv mSv	等価線	受効線量 皮膚 マの水晶体	(mSv X 19 mSv	経験中のは妊娠かばく歴をを提出する。別	mSv 女子 らので 訓添で
の集像量 昭和 年度 昭和63年度 (X これまでのこれまでの これまでの	実効に 平成 前年 一 前年 主な作業事 主な作業 平成 平成	の合計 年度 mSv X) 業所 2 内容 2 以	平成度 平年成度 平年成度 平成度 平成度 不可)	mSv mSv mSv	等価線	受効線量 皮膚 マの水晶体	(mSv X 19 mSv	経験中のは妊娠かばく歴をを提出する。別	mSv 女子 らので 訓添で
の集像量 昭和 年度 昭和63年度 (X これまでのこれまでの これまでの	実効に 平成 前年 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の合計 年度 mSv 業内容 (2)	平 中 成 度 平 年 成 度 平 年 成 度 で 年 成 度 で 年 成 度 の り り り り り り り り り り り り り り り り り り	mSv mSv mSv	等価線量	受別線量 皮膚 マック おおい おいま でんし おいま でんし かいし かいし かいし かいし かいし かいし かいし かいし かいし かい	(mSv X 19 mSv	経験中のは妊娠かばく歴をを提出する。別	mSv 女子 らので 訓添で
の集ල縁量 昭和 年度 昭和63年度 に	実別に 平成 下で 主な作業 (未受講は原 平成 平成 単放射線のの 動放射性同	の合計 年度 mSv x 所容 2 内 空録 人位元素	平 中 成 度 平 年 成 度 平 年 成 度 度 度 度 度 度 り り り り り り り り り り り り り	mSv mSv mSv mSv	実	受効線量 皮膚 マの水晶体 その他	*	mSv X 19 msv mSv	を 妊娠中の はく歴を 提出する 別え	mSv 女子 らので 訓添で
の集伝縁量 昭和 年度・ 昭和63年度 (X Z これまでのこれまでの	実別が、 平成 前年 ・ (本 ・ (本 ・ (本 ・ (本 ・ (本 ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で	の合計年度業内年度mSvメ 所容3中央大位大位大位大位大位	平 平 平 年成 度 平 年成 度 平 年成 度 で 年 成 度 で 年 成 度 で の う こ こ の こ の に る に る に の に の に る に る に る に る に る に る に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に 。 に る 。 に る に る に 。	mSv mSv mSv mSv	実	受効線量 皮膚 マの水晶体 その他	*	mSv X 19 msv mSv	を 妊娠中の はく歴を 提出する 別え	mSv 女子 らので 訓添で
の集(縁量 昭和 年度 昭和63年度 パロカイン (X これまでのこれまでの これまでの これまでの 3.教育訓練歴 22 実施年月日 教育訓練項目	実別に 平成 前年	の合計年度業内年度mSvメ 所容3中央大位大位大位大位大位	平 平 平 年成 度 平 年成 度 平 年成 度 で 年 成 度 で 年 成 度 で の う こ こ の こ の に る に る に の に の に る に る に る に る に る に る に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に 。 に る 。 に る に る に 。	mSv mSv mSv mSv	実	受効線量 皮膚 マの水晶体 その他	*	mSv X 19 msv mSv	を 妊娠中の はく歴を 提出する 別え	mSv 女子 らので 訓添で
の集像量 昭和 年度 昭和63年度 (X これまでのこれまでのこれまでのこれまでの) これまでのこれまでのこれまでののこれまでのこと。 3.教育訓練歴 22 実施年月日 教育訓練項目	実別に 平成 前年	の合計 年度 mSv 大の内 大の内 大の内 大の内 大の内 大の内 大の内 大の内 大の力 大の力 <	平 平 平 年成 度 平 年成 度 平 年成 度 で 年 成 度 で 年 成 度 で の う こ こ の こ の に る に る に の に の に る に る に る に る に る に る に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に 。 に る 。 に る に る に 。	mSv mSv mSv mSv	実	受効線量 皮膚 マの水晶体 その他	*	mSv X 19 mSv mSv	を 妊娠中の はく歴を 提出する 別え	mSv 女子ので 無 無

- ※1 依頼元責任者とは、本依頼書の内容を証明することができ、当該放射線業務従事者とは異なる者とする。
- ※2 放射線従事者中央登録センターにより発行された中央登録番号を記入して下さい。
- ※3 外国人の方は英字で記入して下さい。
- ※4 学部学科名、大学院研究科専攻名、部門部署名等まで記入して下さい。
- ※5 日本原子力研究開発機構原子力科学研究所が発行する個人線量通知票(被ばく線量結果)の通知先になります。大学・研究機関等の住所・連絡先を記入して下さい。
- ※6 労働安全衛生法及び人事院規則の適用を受ける者は指定希望日まで6月以内、それ以外の者は1年以内に実施した特殊 健康診断の結果を記入して下さい。

記入上の注意事項

1.放射線業務従事者個人情報

①研究代表者所属・氏名	研究代表者の所属及び氏名を記入すること。			
	尚、研究代表者が複数いる場合はそのうちの 1 名を記入すること。			
②依頼元責任者・氏名				
	とは異なる者とする。			
③中央登録番号	放射線影響協会放射線業務従事者中央登録センター(以下「中央登録センタ			
	- 」)が発行した中央登録番号(**-*****)を記入すること。_			
	ただし、中央登録センターに登録していない場合や不明な場合は空欄にすること。			
	中央登録センターが発行した放射線	「有」を■にすること。		
 ④放管手帳	管理手帳を <u>所持している</u> 場合			
	中央登録センターが発行した放射線	「無」を■にすること。		
	管理手帳を <u>所持していない</u> 場合			
⑤フリガナ(氏名)	<u>カタカナ</u> で入力すること。			
⑥漢字(氏名)	外国人の場合は <u>英字</u> で記入すること。			
⑦性別	男性の場合	「男性」を■にすること。		
	女性の場合	「女性」を■にすること。		
8 国籍	日本人の場合	「日本人」を■にすること。		
	外国人の場合	「外国人」を■にすること。		
⑨生年月日	生年月日を記入すること。			
⑩身分	身分を記入すること。			
⑪所属	所属を記入すること。			
②住所	大学・研究機関等の郵便番号及び住所を記入すること。尚、記入された住所			
	は <u>個人線量通知票 (被ばく線量結果)の送付先</u> になります。			
(I)TEL	大学・研究機関等の電話番号を記入すること。			

2.被ばく前歴

これまでに<u>放射線取扱業務を行ったことがない者</u>は、空欄にすること。

昭和 63 年度までの間に放射線取扱業務を行ったことがある場合はその集積線量を記入す
ること。 <u>放射線従事者として作業開始した年度を必ず記入すること</u> 。_
<u>検出限界未満の測定結果がある場合</u> は X(測定委託業者により M などの文字で表記して
いる場合がある)の値を記入すること。
平成元年以降から平成 19 年度までの間に放射線取扱業務を行ったことがある
場合はその累積実効線量を記入すること。 <u>放射線従事者として作業開始した年度を必ず記</u>
<u>入すること。</u>
検出限界未満の測定結果がある場合は X (測定委託業者により Mなどの文字で表記して
いる場合がある)の値を記入すること。
平成 19 年度までの過去 4 年間に放射線取扱業務を行ったことがある場合は年度毎 にそ
の実効線量を記入すること。
現在までに結果が出ている被ばく歴(実効線量等)を記入すること。等価線量で皮膚、 <u>眼の</u>
水晶体以外の部位を測定した場合は、「その他」の欄に測定部位とその等価線量の値を記
入すること。
女性のみ、必ず今四半期の実効線量を記入すること。

⑲ 別添	<u>妊娠していない</u> 女性の場合は「別添」の「無」を■にすること。
	<u>妊娠している</u> 女性の場合は「別添」の「有」を■にし、妊娠からの被ばく歴を別途提出
	すること。
②主な作業事業所	放射線取扱業務を行っていた主な作業事業所を記入すること。
②主な作業内容	放射線取扱業務を行っていた主な作業内容を記入すること。

3.教育訓練歷

②実施年月日	最近行った教育訓練の実施年月日を記入すること。

4.特殊健康診断歴

特殊健康診断(問診・検査・検診)の実施年月日及び結果を記入すること。尚、<u>継続</u>で放射線業務従事者として指定する場合は、<u>診断の都度、放射線業務従事者指定依頼書を提出すること。</u>

②実施年月日	新規_で放射線業務従事者として指定す る場合	指定希望日の 6 ヵ月以内 に実施した健康診断の実施年月日を記入すること。 (ただし、 <u>労働安全衛生法及び人事院規則の適</u>		
	る物口	用 を受けない者は 指定希望日の 1 年以内に実施した健康診断の実 施年月日を記入すること。)		
	継続 で放射線業務従事者として指定す	最近行った健康診断の実施年月日を記入するこ		
	る場合	と。		
@診断結果	従事者として従事 <u>可能な</u> 場合	「従事可」を■にすること。		
	従事者として従事 <u>不可能な</u> 場合	「従事不可」を■にすること。		